

平成29年度高梁市立学校再編推進審議会（第6回）会議録（概要版）

1. 招 集 平成29年11月9日 午後3時00分
2. 開 会 平成29年11月9日 午後3時00分
3. 閉 会 平成29年11月9日 午後4時40分
4. 会議の場所 高梁市役所 3階大会議室2、3
5. 委員の出欠及び氏名

氏 名	出欠の別
山部 正	出 席
川本 雅子	欠 席
肥田 吉教	出 席
湯浅 眞治	出 席
植木 哲夫	出 席
村上 鉄治	出 席
三宅 忠篤	出 席
川上 博司	欠 席
黒川 康司	出 席
大川 和恵	欠 席
仲元 稔明	欠 席
塩田 寿光	出 席
中山 正浩	出 席
松尾 志郎	出 席
妹尾 芳訓	出 席

6. 事務局の出席者の職氏名

職 名	氏 名
教 育 長	小 田 幸 伸
教 育 次 長	宮 本 健 二
教 育 総 務 課 長	大 福 克 志

学 校 教 育 課 長	張 谷 孝 文
教 育 総 務 課 課 長 補 佐	西 川 優 子

7. 議事の内容

別紙会議議事要録のとおり

高梁市立学校再編推進審議会（第6回）議事要録概要

1. 開会

2. あいさつ

会長	<p>これまでの経過を元に、答申案が出来上がりつつある。これをこれから答申にしてい く。</p> <p>学校はできるだけ現在のまま、活性化しながら発展してほしいというのが、この会 での意見であったと思う。一方で、どうしても子供の数が非常に少なくなり、教育的に子 供のためにならない、再編せざるを得なくなったらどうするかということで、「原則」 が出てきた。それが答申の1となる。答申の2は、現状を活性化していくためにはどう するかをまとめてもらっている。</p> <p>今後の予定は、今日の意見で答申案を修正し、市長、議会の全員協議会で報告し、出 された意見を参考にする。また、来年早々に中学校区で地域を回り、一般に対して答申 を説明し、意見を聴取し、最終的に答申となる。この全体の会議は、修正し、諮るた めに開催するので、後1、2回で終了する予定である。最終的には、3月に答申を市長へ 報告し、終わりとなる。</p> <p>今日は、答申案を仕上げなければならないので、案について色々な忌憚のない意見 を出してもらい、スムーズな会議ができればと思っているので、よろしく願います。</p>
----	--

3. 議事

前回議事録一部修正の上で承認

会長	<p>答申案の資料に基づき、これから議論していく。議論の方法として、文章に大切な部 分もあるので、事務局に読み上げてもらう。</p> <p>まず表紙だが、表題は、「教育環境を確保するための小中学校再編の基本的な考え方」 及び「教育目標を達成するための教育施策のあり方」についてである。「(答申案)」に 「案」が入っているが、最終的に3月には「(答申)」となる。</p> <p>次頁の目次は、「はじめに」があり、1番に諮問「教育環境を確保するための小中 学校再編の基本的な考え方について」を答申するという。2番目に「教育目標を達成 するための教育施策のあり方」である。3番目の「答申にむけた議論過程と検討方針」 は、この会で議論し、色々な意見が出て諮問1、諮問2の結論に達したという経過を書 いたものである。4番目「再編の枠組みの目安」は、第5回で学校と学校のグルーピン グを考えた。非常に多くのグルーピングがあるが、代表的なものを載せている。5番 目の「高梁市立小中学校の現状」は、人数などのデータの的なものである。6番目は、「 小規模校のメリット・デメリット」である。最後に「おわりに」があり、資料としては、 Aが「高梁市立学校再編推進審議会委員名簿」、Bが「高梁市立学校再編審議会審議経 過」、Cが「諮問書」市長からの諮問書である。Dが「児童教・生徒教・学級教・教職 員数」、最後が「高梁市立小中学校所在地図」である。この目次としているが、これ から中学校区ごとに説明して回り、色々意見をもらおうと思う。その意見を資料として載</p>
----	---

	<p>せる部分と、文書自体を修正せざるを得ない場合も出てくると思うが、今後統廃合に向けた準備委員会を設置した場合、そういった意見が出たということが多いに参考となると思うので、資料の中へ載せようと思っている。</p> <p>気付いた点があれば、後で意見をいただきたい。</p>
教育総務課長	「はじめに」を朗読
会長	<p>人口減と同時に子供の数も減少していることを書き、教育には、ある程度の規模が必要であり、小規模校のメリット・デメリットを研究し、十数回に渡り議論をして来たということである。市長、市議会への報告を行った後、住民の意見をもらう。最後に、定住対策や産業振興の施策を十分取ってほしいということ載せている。定住対策や産業振興の施策の充実が、大前提であるということである。もう少しこのようなことを書いた方がよいのではないかという意見はあるか。忌憚のない所をお願いする。</p>
委員	<p>「市内6中学校区で地域住民や保護者の意見聴取会を開催し、」の中に、記載しなくてもよいので、備中町は、中学校が統合し、成羽中学校へ通学しているが、備中町でも意見聴取会を開いてほしい。</p>
教育総務課長	<p>中学校区がなくなったばかりであり、聴取会が1回増える事については、スケジュール上問題ない。</p>
会長	<p>そういう意見があるということで、追加をお願いする。</p>
教育総務課長	<p>そのように計画する。</p>
教育総務課長	「I 諮問「1 教育環境を確保するための小中学校再編の基本的な考え方について」」を朗読
会長	<p>再編の答申である。かなり議論した内容であるが、囲んである太字の箇所が小学校、中学校の基準の内容である。「原則として」が適用されない場合、長距離、長時間、安全性の面、今後将来的に入学児童生徒数が増加する場合には、現時点で基準に抵触しても適用されない。複式学級というものがどういうものであるかが書いてある。補足事項としては、少なくとも3年前から準備委員会をする。準備委員会のメンバーが列挙してある。教育委員会、学校、PTA、コミュニティ協議会等地元団体に組織する。メンバー構成は、地域の意見を反映させて教育委員会で決定するということである。2番目は、基準に抵触しないが、地元から再編の要望があった場合には、準備委員会を設置し、話し合いをしていく。3番目は、準備委員会は、最初から再編ありきではなく、色々な選択肢があるということを書いている。長距離、安全性ということで、スクールバスを利用しても、1時間圏内で通学できる範囲内で考えるということである。これについてどうか。</p>
教育総務課長	<p>1点追加させていただきたい。補足事項の①の中で、準備委員会の中に教育委員会、学校、PTAやコミュニティ協議会等地元団体としているが、②の中で、地元（学校、PTAやまちづくり、コミュニティ協議会）としているので、まちづくりを①の準備委員会の方にも加えさせていただけたらと思う。</p>

<p>会長 委員</p>	<p>まちづくりを準備委員会に入れる。 補足事項①の中で、「地元団体に組織する」とすれば、個人では入れないという理解になると思う。個人でも入りたい、意見を言いたいという人もいるのではないか。そうになると、団体だけで区切ってしまってよいのかと思う。「等」を「地元団体」の後に付けた方がよいのではないか。</p>
<p>教育長 会長</p>	<p>「地元団体」を削除すればどうか。 「協議会等で組織する」となり、「まちづくり」というのが、「PTA」の後に入る。「PTA、まちづくりや」となる。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>「Ⅱ 諮問「2 教育目標を達成するための教育施策のあり方について」」を朗読</p>
<p>会長</p>	<p>ここで問題になるのは、教育予算を市が十分措置してほしいという事である。校長を二人招き、色々話を聞いたが、小規模校のデメリットを解消しようとしている。そういう事に対して、市も全面的に支援してほしいということである。 まず、1番は、既存の教育を充実させるための取組を一層推進させるということで、合同授業とかICTが出てきた。ICTを使い、少人数であるが、他の学校と一緒にテレビカメラを通して、意見交換ができるということである。ICTは学校に導入し始めたところであるので、全ての学校に導入して欲しいということを書いてもらった。小中連携は、既に行われているが、中学生になるといじめや不登校も増える。いわゆる中1ギャップがあるので、スムーズに中学校に進学できるよう連携してほしいということである。最終的にはふるさとに帰ってほしいという伝統芸能、郷土芸能をしっかりと教えてほしいということである。 2番目は、地域との連携強化ということで、これから市でも積極的に取り組むコミュニティ・スクールである。地域学校協働本部は、もう既に全ての学校に設置されているが、更に活性化させていくということである。 次の頁は、新たな学校制度で、このような視点で教育委員会も学校も研究して欲しい、研究する必要があるということである。この会でも頻りに意見の出た寮制度についても、研究していかなくてはならないということが述べてある。何かもれているようなことや、こうした方がよいということがあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>前半は、現在までの頑張っている過程の話であるが、これから30年後となると、3番の新たな制度を考えていると思う。その①の教育課程特例校制度というのは、どういう形で考えているか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>7月26日に開催した第3回の中で、様々な教育制度について説明を行った。資料3の13頁へ、教育課程特例校制度（教育特区）ということで載せている。総社市の例をあげているが、学校又は地域の実態に照らし、より効果的な教育を行うため、学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成し、教育を実施することとあり、総社市の場合英語教育特区や、体育や音楽の特区に取り組んでいるという実態がある。</p>

	<p>全国どこからでも就園就学が可能である。この制度で、特別に園児数や児童数が増えたという実態は特になかったという状況であった。</p>
<p>会長</p>	<p>総社のある学校は、英語を重点的に行うということで、市外県外からも受けている。そういう意味では、高梁で教科に重点を置くものができれば、特色となると思う。ただ、これで人数が増えるということには、なかなかならない。</p>
<p>委員</p>	<p>30年後となれば、旧町では、小学校も中学校もないというのが、現実的となる。その場合に、特色のある学校を地域に持っていくという制度であると取ればよいが、そう取れるか。</p>
<p>会長</p>	<p>そのあたりは、また研究しなければならないし、小学校と中学校を一緒にすることも30年後を見据えると出てくるだろう。寮も作らざるを得ないという可能性も出てくる。30年後を考えると、本当に子供が少なくなったということになれば、段階を追って、この審議会のような会議をしながら進める必要があると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>要望であるが、ICTとか中1ギャップとか言葉の解説が、地域での説明の時にはどこかにあったほうが、分かりやすいのではないか。</p>
<p>会長</p>	<p>指摘のとおりである。一般の人も読んで分かるレベルとなるように、中1ギャップ、ICT、教育課程特例校、コミュニティ・スクールの解説を簡単に入れる。</p>
<p>教育次長</p>	<p>3頁の前文の中で、県教育委員会へ働きかけ、優秀な教員の確保を行うという部分はこれだけであれば、市の主体性が感じられないと思うので、「県教育委員会へ働きかけ」を削除するか、「働きかけ」の後に、「及び市での研修の充実等により」を加え、市の主体性を表したいと思う。</p>
<p>教育長</p>	<p>どの教員をどこにという人事配置については、市の教育委員会は、意見を述べるだけで、最終的な任命権は、県教育委員会である。そのために「県へ働きかけ」と入れているが、制度で当たり前のことなので、市へ配置された教員を鍛えて、優秀な教員を育てるという方が、市にもらう答申としては主体的でよいのではないかという提案である。</p>
<p>会長</p>	<p>文章はどうなるか。県教育委員会へ何を働きかけるのか。</p>
<p>教育長</p>	<p>教員数が多く欲しい、優秀な教員が欲しい、中堅の年代の教員がいないというようなことを県に働きかけるとともに、異動して来た教員については、市で研修をしっかりと行い、力をつけさせ、よい教育が出来るようにする。この両方でいけば、良い教員が確保できるのではないかと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>読み上げると、「市の教育費関連予算の十分な確保を求めるとともに、県教育委員会へ働きかけ、さらに市での研修の充実等により優秀な教員の育成を図ることが必要である。」ということになる。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>「Ⅲ 答申に向けた議論過程と検討方針」を朗読</p>
<p>会長</p>	<p>今まで議論したことを、ここへ要約したということである。前文の結論は、こういう議論から導いたということを具体的に説明している。分かりやすいか。</p>

<p>委員 会長</p>	<p>行ってきた議論の順番からいくと、最初は、小規模校のメリット・デメリットから入って来た。ここでは再編のことが先に書いてあるが、小規模校のデメリットを解消し、それでも駄目なら再編しますという順序だった。前後しても内容的には変わらないが、順番としてはそういう形で行って来た。順番どおりに書いた方がよいというような気もするが、いかがか。</p> <p>メリットの記述がないので、小規模校のメリットを載せた方がよい。</p> <p>小規模校にもよいところがあることを、もう少し具体的に入れた方が、行って来た議論の過程も、より鮮明に世間に伝わっていくのではないか。</p>
<p>委員 会長</p>	<p>小規模校の魅力をどのように作っていくかが思いとしてある。</p> <p>現在も小規模校で頑張っている事を、評価してあげなければならないのではないかと いうところである。地域で話をする時も、小規模校がよく頑張っている、このよ うにデメリットを克服しているということを伝えるため、そこをもう少し膨らませ、評 価してあげた方がよい。それから、議論してきた順番に書いた方が、入っていきやす いのではないか。</p>
<p>委員 教育長</p>	<p>____委員が言ったように、小規模校のメリットをもう少し表に出した方がよいと思 う。順番でこういう結果になったとした方が、分かりやすいのではないか。</p> <p>書く順番を決める時、二つの考え方があり、どちらにするか迷ったため、今日議論 をお願いしようと思っていた。答申であるので、とりあえず答申を先に出すというの が、今回の出し方である。答申のすぐ後には、その答申を出した理由を述べなければ ならないため、先ほどの文章がある。もう一つの考えは、この審議会の意見としては、 まず学校を今のままで充実させて粘り、どうしてもだめであれば再編へという考え方 なので、論議した順番に示した方が、この会の意見が、相手に正しく、上手く伝わり やすいのではないかとということである。そうなると、先ほどのメリット、デメリット、 現状を述べ、このような考え方に立ち、最後にこの答申になったという形にする。ど ちらがよいか、この部分は、みなさんの意見を最大限尊重しなければならないので、 審議いただければと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>本来は、最初に結論がくるという答申は珍しい。地域へ説明に行き、話を聞く場合、 現在も小規模でもりっぱに存続していることを最初に述べた方が、地域も喜ばれる し、自信にもなるのではないかと思う。順番についてどうか。</p>
<p>委員 委員</p>	<p>議論した順番がよいと思う。</p> <p>過程は、どのような考え方で行っているかが読む方にも分かるのではないかと思う ので、順番でよいと思う。</p>
<p>教育長 会長 教育長</p>	<p>答申は答申で先に入れるが、論議した経過は、順番どおりということではよいか。</p> <p>審議経過は、また順番を入れ替える。</p> <p>事務的なことになるが、順番を入れ替えるだけなので、会議録を送る時、入れ替え たものを送るということではよいか。</p>
<p>会長</p>	<p>今回は答申案なので、この後の文言の修正、加除や文書の配置などについては、私 が責任を持って行うということで、了承いただきたい。最終答申は、また諮らせてい ただく。</p>
<p>各委員</p>	<p>了承</p>

教育総務課長	「Ⅳ 再編の枠組みの目安」を朗読
会長	<p>枠組みは、多く考えられるということを前回議論したが、ここでは、代表的な再編の枠組みを挙げているので、詳細については、準備委員会で考えるのだということが大きな骨子である。</p> <p>6頁の下に小学校のグルーピングを列挙しているが、まだ他にも何かあるか。</p> <p>少し見てみると、川上エリアは、富家小、川上小、成羽小である。福地小は、成羽小と落合小の両方である。玉川小は、落合小と高梁小の両方である。松原小は、高梁小だけである。津川小は、高梁小と巨瀬小、有漢西小、有漢東小の四つをまとめる中にも入っている。</p> <p>この形で載せておき、あくまで準備委員会で慎重に審議してほしい、色々な意見があるので、この形にしているということにするかである。</p> <p>中学校の方は、川上中と成羽中、これは流れであろう。この他高梁北中と高梁中と高梁東中である。高梁東中と有漢中もある。有漢中だけというのは、どういうことであつたか。</p>
委員	旧郡の関係から、単独ではないか。
会長	単独か。
教育総務課長	旧高梁市、川上郡、上房郡で分けた場合、上房郡は有漢中だけである。
教育長	<p>高梁中、高梁北中、高梁東中のグループに有漢中も入るというパターンもあつたと思う。</p> <p>統合の「原則として」の考え方の中にもあつたが、例えば、本当に川上小、成羽小、富家小を一緒にすることになるかもしれないが、富家小から9.4キロなので、富家小から向こう20キロくらいの所までが学区にあるということも含めれば、いくら小規模になつても、旧町に1校は残さなければならないのではないか。宇治小、中井小、川面小をグルーピングしても、本当に出来るのかということも含めて、グルーピングするとしたらここということ、これを載せるだけで、話をもめたりしないか。説明会においても、ここばかりに話が集中するのではないかという危惧もかなりある。注釈をたくさんつけて、何も出さなくては提案にならないということで許していただき、事務局の方で工夫させていただく余地を残し、少し事務局にまかせていただければ有難い。</p>
会長	子供が実際通えるかどうか。小学1年生の子供が、20キロも30キロも通学だけで疲れる。
教育長	一番遠い西山の場合は、新見市へ通学するという形になっているが、川上町もずっと奥になると川上中学校へ行くだけでも相当な距離があるし、同じ事が宇治、中井、川面なども言える。
会長	そのあたり、事務局で良い案があれば、また考えてもらうということで、事務局にまかせることとする。

教育長	これを基本として、その趣旨が理解してもらえるような表現にする。
教育総務課長	「Ⅴ 高梁市立小中学校の現状」を朗読
会長	ここでは、小中学校の現状としてデータの並べ、その解釈をしているということである。
委員	小学校の事があり、中学校の事があるので、一番下の学校配置の表を、「※平成 29 年度小中学校教職員配当基準（岡山県教育庁）」の下ぐらいに持っていった方が、分かりやすいのではないかと。
会長	言われた通りである。
教育総務課長	「Ⅵ 小規模校のメリット・デメリット」を朗読
会長	ここまでほとんどは、文部科学省の手引からの抜粋であるが、前文の部分で何かあるか。
教育総務課長	図のデメリット、メリットを入れ替えさせていただきたい。メリットが先になるようにしたい。
会長	デメリットを強調させてしまうので、提案のとおりデメリット、メリットを入れ替えるよう修正する。
教育総務課長	「Ⅵ 小規模校のメリット・デメリット」の続きを朗読
会長	校長からの意見を簡単にまとめている。何かあるか。
委員	校長からの意見の中で、小学校より中学校の方がデメリットの影響が大きいというのがあった。
会長	中学校は、人数が必要である、規模が必要であるということをもう少し書いた方がよいか。小学校は、デメリットをなんとか克服できるが、中学校になると、部活や授業等含めて、ある程度規模がなければならない。中学校は、次に高等学校に入っていくので、準備の段階として、ある程度の規模の中で、将来を見据えた教育をしていかなくてはならない。
委員	中学校の人数が少ないのは支障がある。
会長	【審議会の主な意見】の中で、「・地方から改革していくことを進めてほしい。」が分かりにくい。
教育総務課長	この時の意見の趣旨は、各小規模校の地域の定住対策・産業振興を推進してほしいとの話であった。その時の議事録等のまとめ方がこのような文章であったので、それを記載した。
会長	分かるような、分からないような感じである。
教育総務課長	今説明したような文章に変える。
会長	もう少し分かりやすく、具体的にしてほしい。

委員	【校長からの意見聴取】の中で、上の4行が小学校と書いていないので、小学校の事であるということが分からない。
会長	指摘のとおりである。「小学校においては」を入れる。
教育総務課長	「おわりに」を朗読
会長	<p>予算を十分に配慮していただきたいというような、予算の事が抜けている。学校は地域の重要な拠点であるということを書いておかなければならない。再編については、みんなが納得する形で進めていかなければならない、ということも入れてほしい。</p> <p>あえて言うならば、全国学力状況調査も良い結果であったことも、褒めるという点で入れた方がよいかもしれない。お陰を以て、とは言え尚更一層充実のための予算をお願いするというようなことも入れてはどうか。</p> <p>後の頁は資料である。簡単に目を通していく。12頁は、委員の名簿である。13頁は、審議経過で、どんな日程でどのような事を議論したか書かれている。1月に入ると、意見聴取会で委員のみなさんにお世話になる。特に自分の担当エリアの時には、出来るだけ出席の協力を願いたい。14頁は、首長からの諮問文である。15、16頁は、データの的なものである。17頁は、学校の配置図である。</p> <p>全体を通して何かあるか。</p>
委員	1頁5行目の1600の表記は、後の文書には、コンマが入っているので、入れた方が分かりやすい。
委員	委員は、任命されたら、責任を持って最後まで忙しくても、参加していただかなければいけないと思う。
委員	出席しなければいけないと思うので、中学校区ごとの意見交換会の日程は前もって教えてもらえるのか。
会長	夕刻になると思う。
教育総務課長	<p>1月になって、第3、4週くらいで詰めて行いたい。13頁の表で、第14回まであるが、村上委員からも話があったように、中学校区意見聴取会をもう一行増やし、全部で7回行う予定である。参集範囲は、今考えているのは、PTAは、学校から連絡させていただく。まちづくり協議会の会長への連絡と、12月号の広報紙で町内回覧等を考えている。また、地元の議員へ連絡する。委員のみなさんは、会長、副会長は、できるだけ都合をつけて出席いただきたい。高梁中学校区は、川本、大川委員に、高梁東中学校区は、肥田、仲元委員に、高梁北中学校区は、湯浅、塩田委員に、有漢中学校区は、植木、中山委員に、成羽中学校区は、松尾、村上委員に、黒川委員は、議員としても出席をお願いしたい。川上中学校区は、三宅、妹尾委員に出席をお願いしたい。成羽中学校区備中町分では、村上委員へ出席をお願いしたいと思う。日程については、早めに調整させていただく。学校の方で行いたい。備中については、富家小学校がよいと考えている。それ以外は、中学校で行うよう、検討している。</p>
委員	5頁の下の方の答申の考え方の中で、「再編の基準とした。」としている。答申なので、何もないではいけないので作ったのだが、基準を作っただけでなく、地域力によって、存続に努力するという考えがあったので、そのことを入れるとよいと思う。

会長	5頁の中ほどの、「特に小学校においては、地域との密着度も強く、通学の範囲の問題もあり、教育環境が確保できるかぎり存続させる方向で考えていくこととした。」には書いている。この部分の強調を特にお願いする。これでよろしいか。
委員	了承。
委員	12頁の名簿に、山部会長は、学識経験者としてしか書かれていない。会長、副会長を入れた方がよいのではないか。
会長	事務局へまかせる。

4. その他

今回は、意見聴取会が終わり、会に出た意見をまとめ、2月のあたりに審議をいただきたい。

5. 閉会（会長）

答申骨子ができたように思う。これから最後の仕上げに向け、まだ協力をいただかなければならない。今後ともよろしく願います。